

2008年2月7日

お客様各位

フィデリティ投信株式会社

弊社投資信託の基準価額下落について

2月6日(水)、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して5%を超えて下落しましたので、ご報告いたします。

ファンド名	2月6日 基準価額	2月5日 基準価額	騰落率
フィデリティ・セレクト・ファンド(金融サービス)	10,310円	10,872円	5.17%

上記ファンドの2月6日(水)の基準価額は、2月6日(水)の日本株式市場の株価で決まりますが、今回の基準価額の下落は、2月6日(水)の日本株式市場がほぼ全面的に下落したことに起因しております。

2月6日(水)の日本株式市場は、日経平均株価が前日比646円26銭安(4.70%)の1万3099円24銭となりました。また、東証株価指数(TOPIX)も前日比57.07ポイント安(4.21%)の1,298.41と下落しました。

業種別でみると、業種別TOPIX(全33業種)は全ての業種で下落しました。特に、非鉄金属(6.87%)、その他金融業(6.62%)、保険業(6.27%)、石油・石炭製品(6.25%)、水産・農林業(6.23%)の落ち込みが目立ちました。

2月6日の日本株式市場は、前日の米国市場が今年最大の下げとなったことや米国景気の減速懸念が一段と強まったことなどを背景に、大幅に下落しました。米国の信用力の低い個人向け住宅融資(サブプライムローン)問題の拡大で米金融保証会社(モノライン)が格下げされ、信用収縮が深刻化するとの懸念が広がったことも、金融関連株などの下落に繋がったものと思われます。

今後の市場の動きは慎重にみていく必要がありますが、上記ファンドの基本的な運用方針に変更はございません。ボトム・アップ・アプローチを採用する弊社では、継続的に企業のファンダメンタルズ分析を行い、バリュエーションを常時モニターしながら、中長期的にベンチマークを上回るパフォーマンスを可能とする企業の選択に注力してまいります。

お客様におかれましては、引き続きご愛顧のほど、お願い申し上げます。